



広島大学歯学部

歯科衛生士教育研修センター主催

厚生労働省補助事業

第4回
Web開催

2023年度 前期 リカレント研修会

「良く分からない痛みを訴える患者に 対する介入方法」

LIVE配信：2023年7月10日(月) 19:30～21:00

オンデマンド配信（録画視聴）：2023年7月14日(金)～2023年7月23日(日)



広島大学大学院医系科学研究科
歯科麻酔学研究室
助教 土井 充 先生

講演内容

- 歯科的な原因でなくても歯は痛む？
- 痛覚変調性疼痛って何？
- 慢性化した痛みの患者にはどう対応するのが正解？

講演の要約

歯科を受診する患者の主訴の多くは「痛み」である。通常は、口腔内診察やレントゲン撮影によりカリエスや歯周病が見つかり、適切な治療をすれば痛みは改善する。しかし、口腔内診察では異常が見つからない「良く分からない痛み（非歯原性歯痛）」を訴える患者も存在する。そういった患者では、痛みストレスから脳も刺激され、いわゆる心理的な痛み（痛覚変調性疼痛）を伴って、病態が複雑になっていることも多い。そのため、慢性化した良く分からない痛みの患者を診察するにおいては、認知行動療法などの心理介入を意識した対応をすることが重要となってくる。

今回は、「良く分からない痛み」を訴える患者に対する治療介入のポイントについて講演する。